

# 景 気 動 向 調 査

( 第 133 回 )

2004 年 1 月 ~ 3 月 期 実 績

2004 年 4 月 ~ 6 月 期 予 測

株 式 会 社 北 日 本 銀 行

経 営 企 画 部

## 目 次

調査要領	.....	1
概 況	.....	2
1．県内景況感について	.....	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	.....	5
(2) 生産高または仕入高	.....	6
(3) 在 庫	.....	7
(4) 収 益	.....	8
(5) 販売価格・仕入価格	.....	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	.....	10
(2) 設備投資の目的	.....	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	.....	12
(2) 現金・預金	.....	13
(3) 金融機関借入	.....	13
(4) 販売代金回収期間	.....	14
(5) 仕入代金決済期間	.....	14
5．経営上の問題点について	.....	15

## 調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

### 記

- 1．実施時期           2004年3月下旬～2004年4月上旬
- 2．調査対象期間   2004年1月～3月期実績  
                          2004年4月～6月期予測
- 3．調査の方法       郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
- 4．対象先            岩手県内企業 400社
- 5．回答数            222通（回答率 55.50%）  
                          <内訳> 製造業 68社 建設業 65社 卸・小売業 89社
- 6．調査の主要項目   （1）業況について  
                          （2）設備投資の動向について  
                          （3）資金繰りの状況について  
                          （4）当面する経営上の問題点について

以 上

#### 【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

（注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

# 概 況

～ 県内景況感 5 期連続で上向きに ～

2004 年 1～3 月期の岩手県内企業の景況感 D I は、全体で 63.4 と前期 66.8 より 3.4 ポイントほど上向きとなった。

依然として低水準ではあるが、今回調査で 5 期連続で上向きとなり、少しずつ好転してきていることが窺える。次期見通しでは景況感 D I が 50 ラインを切るなど、4 月以降の景況回復への期待が膨らんできている。

項目別に前回調査時（2003 年 10～12 月期実績）と比較してみると、景況感については 5 期連続で上向きなど明るい兆しがみえてきているが、「売上高・出荷高」を始め「収益」も含めた業況に関する DI についてはバラツキがみられる。また、「設備投資」に関しては、今回調査では若干下向いたものの、次期は全業種で上向き予想となっている。資金繰り状況についても今回調査において 4 期ぶりに下向きとなっているが、建設業の停滞が要因であり、業種間の格差が顕著となっていることから、今後の動向を注視していきたい。

一方、国内経済全般をみると、輸出関連が好調で、設備投資も回復傾向で推移し、鉱工業生産も増加している。また、雇用情勢は依然厳しい状況が続いているが、生産増加の動きを受け、緩やかながら改善の方向にあり、個人消費もやや強めの動きとなっている。しかし、公共投資は予算規模縮小の影響から減少を続けており、住宅投資も低調に推移していることから、関連業種は厳しい業況が続いている。物価動向は、国内企業物価が内外の商品市況高などを反映して上昇、消費者物価は横這いで推移している。

また、最近の岩手県内経済をみると、IT・デジタル家電関連および自動車関連の製造業が好調で、輸出関連とともに景気回復牽引の動きがみられるものの、公共投資の落込みで建設業の低迷が続くとともに、所得・雇用面の回復が緩慢なことから個人消費や住宅建設は低調に推移するなど、全体として厳しい状況が続いている。

< 参考 >

## 岩手県内企業「景況感 D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感 D I
1	第 124 回	01 年 10～12 月	91.2
2	第 109 回	98 年 1～3 月	90.6
3	第 111 回	98 年 7～9 月	90.0
4	第 108 回	97 年 10～12 月	89.7
5	第 110 回	98 年 4～6 月	89.3

(1971 (昭和 46) 年以降)

## 1. 県内景況感について

全体のD Iは、今回調査では 63.4 と前期比 3.4 ポイント上昇し 5 期連続で上向きとなった。

また、各業種別のD Iをみると、製造業で 9.1 ポイント、卸・小売業で 12.5 ポイント上昇したが、建設業は 15.5 ポイントの低下となった。

## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

製造業でやや上向いたものの、卸・小売業は下向きに転じ、建設業は引続き下向きとなった。

### (2) 生産高または仕入高

製造業の生産高は上向きに転じたものの、卸・小売業の仕入高は 4 期ぶりで下向きとなった。

### (3) 在庫

製品・商品の在庫は、製造業は引続き上向いたが、卸・小売業はふたたび下向きに転じた。

### (4) 収益

建設業は上向いたが、卸・小売業で大きく下向き、製造業でも下向いたことから、全体でも 4 期ぶりに下向いた。

### (5) 販売価格・仕入価格

販売価格、仕入価格とも上向き、特に仕入価格はD Iゼロのレベルとなった。

## 3. 設備投資の動向について

全体でみると設備投資を「実施した」企業は 15.6%と、前回は 1.5%下回ったが、1-3 月時期としては比較的堅調に推移している。

なお、設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」「生産販売能力の増加」の割合が引き続き高くなっている。

## 4. 資金繰り状況について

製造業を中心に全業種で下向き、全体では 4 期振りに下向きとなった。また、来期の見通しについては、建設業はほぼ横這いで、卸・小売業で上向きの予想となっているが、製造業では下向く予想となっている。

## 5. 経営上の問題点について

上位の 4 項目、「売上・受注不振」「収益不振」「販売価格安」「過当競争」は変わっていない。

# 1. 県内景況感について

～ 5期連続で上向く ～

〔1～3月期の実績〕 県内の景況感（前年同期比）についてみると、全業種では「良い」と答えた企業が3.6%（前期4.6%）、「悪い」が67.0%（同 71.4%）で、DIは63.4（同 66.8）と、3.4ポイント改善し5期連続で上向いた。

業種別の景況感（DI）をみると、建設業が80.0（同 64.5）とふたたび下向きに転じたが、製造業56.7（同 65.8）及び卸・小売業56.2（同 68.7）は上向いた。

〔4～6月期の見通し〕 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が7.8%、「悪くなる」が53.9%であることから、DIは46.1となり、1～3月期実績と比較すると指標は17.3ポイント上向く。

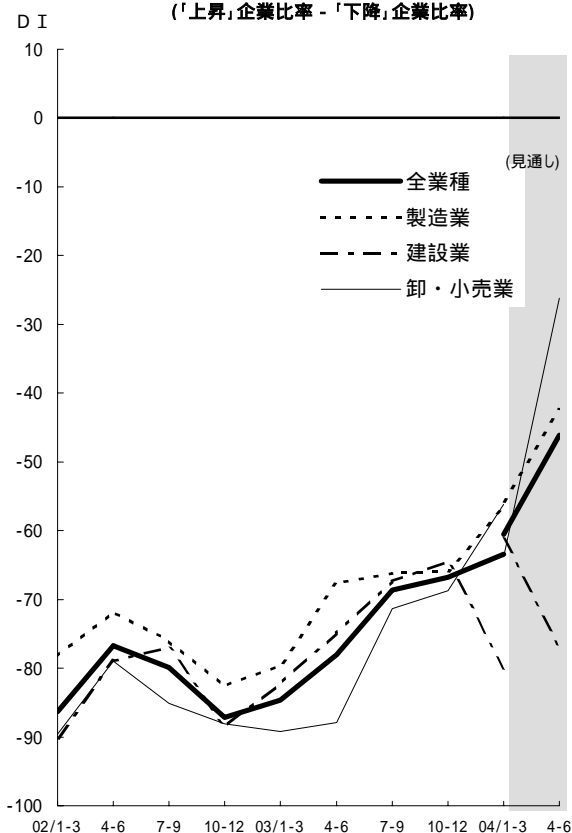
業種別にみると、製造業が42.5、建設業が76.9、卸・小売業が26.2となっており、1～3月期実績と比較して各業種とも上向く見通しで、製造業と卸・小売業は久しぶりに50ポイントラインを切っている。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	1～3月 (実績)	0.0	3.6	29.4	36.7	30.3	-63.4
	4～6月 (見通し)	0.5	7.3	38.3	27.9	26.0	-46.1
(製造業)	1～3月 (実績)	0.0	4.5	34.3	32.8	28.4	-56.7
	4～6月 (見通し)	0.0	10.6	36.3	27.3	25.8	-42.5
(建設業)	1～3月 (実績)	0.0	1.5	17.0	32.3	49.2	-80.0
	4～6月 (見通し)	0.0	0.0	23.1	29.2	47.7	-76.9
(卸・小売業)	1～3月 (実績)	0.0	4.5	34.8	42.7	18.0	-56.2
	4～6月 (見通し)	1.1	10.2	51.2	27.3	10.2	-26.2

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

#### ～ 建設業の停滞続く ～

〔1～3月期の実績〕 売上・出荷実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が19.9%(前期 22.6%)、「減少」が54.3%(同 53.1%)となり、DIは34.4(同 30.5)と、ふたたび下向きに転じた。

業種別にDIをみると、製造業 29.9(前期 31.6)、建設業 44.6(同 35.6)、卸・小売業 30.3(同 26.5)となった。製造業で若干上向いたものの、卸・小売業が下向きに転じ、特に建設業は下降幅が大きかった。

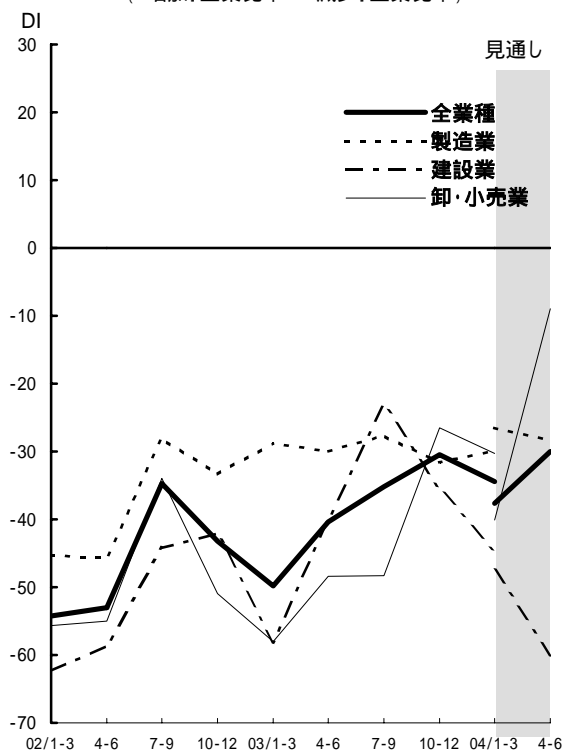
〔4～6月期の見通し〕 4～6月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が18.7%、「減少」が48.7%であることから、DIは30.0で、1～3月期実績と比較して若干上向く予想となっている。

業種別にDIをみると、製造業で28.4、建設業で60.0、卸・小売業で9.0となっており1～3月期実績と比較して、建設業以外は上向く見通しとなっている。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(%)						
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI	
全業種	1～3月(実績)	3.6	16.3	25.8	31.7	22.6	-34.4	
	4～6月(見通し)	2.3	16.4	32.6	28.2	20.5	-30.0	
(製造業)	1～3月(実績)	1.5	19.4	28.3	28.4	22.4	-29.9	
	4～6月(見通し)	1.5	14.9	38.8	26.9	17.9	-28.4	
(建設業)	1～3月(実績)	4.6	12.3	21.6	27.7	33.8	-44.6	
	4～6月(見通し)	3.1	7.7	18.4	24.6	46.2	-60.0	
(卸・小売業)	1～3月(実績)	4.5	16.9	26.9	37.1	14.6	-30.3	
	4～6月(見通し)	2.3	23.9	38.6	31.8	3.4	-9.0	

売上・出荷動向(前年同期比)  
(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)



(2) 生産高または仕入高

～ 製造業上向きに転じ、卸・小売業は4期ぶり下向き ～

〔1～3月期の実績〕 生産高・仕入高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が22.4%（前期19.3%）、「減少」が44.8%（同44.9%）で、DIは 22.4（同 25.6）と、上向きに転じた。

卸・小売業（仕入高）では、「増加」と答えた企業は19.8%（前期25.5%）、「減少」が46.5%（同50.0%）で、DIは 26.7（同 24.5）と4期ぶりに下向きとなった。

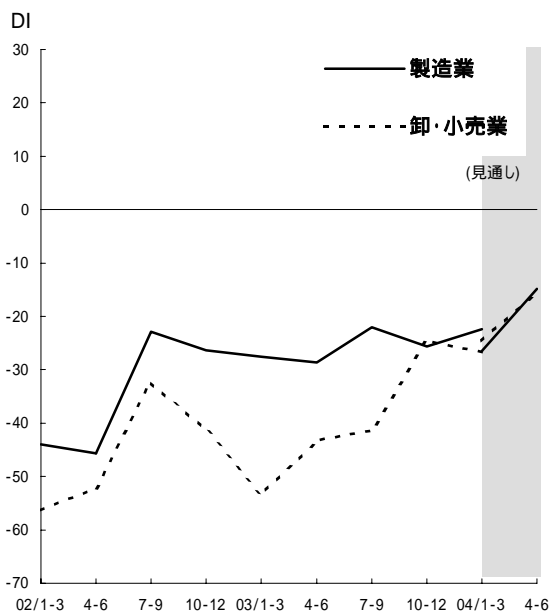
〔4～6月期の見通し〕 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については、「増加」と答えた企業が20.9%、「減少」が35.8%であることから、DIは 14.9で、1～3月期実績と比較して、更に上向きの見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が 19.1%、「減少」が34.5%であることから、DIは 15.4となり、1～3月期実績と比較し上向きに転じる見通し。

生産高または仕入高(前年同期比)

		（%）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
（製造業）	1～3月 （実績）	1.5	20.9	32.8	28.4	16.4	-22.4
	4～6月 （見通し）	1.5	19.4	43.3	19.4	16.4	-14.9
（卸・小売業）	1～3月 （実績）	4.7	15.1	33.7	38.4	8.1	-26.7
	4～6月 （見通し）	2.4	16.7	46.4	32.1	2.4	-15.4

生産・仕入動向(前年同期比)  
（「増加」企業比率 - 「減少」企業比率）





### (3) 在庫

～ 製造業の製品在庫2期連続上向き、卸・小売業の商品在庫下向き ～

[1～3月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は17.5%（前期17.8%）、「減少」が36.5%（同39.8%）であることから、DIは 19.0（同 22.0）となった。また、原材料在庫水準については「過大」が9.4%（同9.1%）、「適正」が67.9%（同74.2%）、「不足」が22.7%（同16.7%）である。

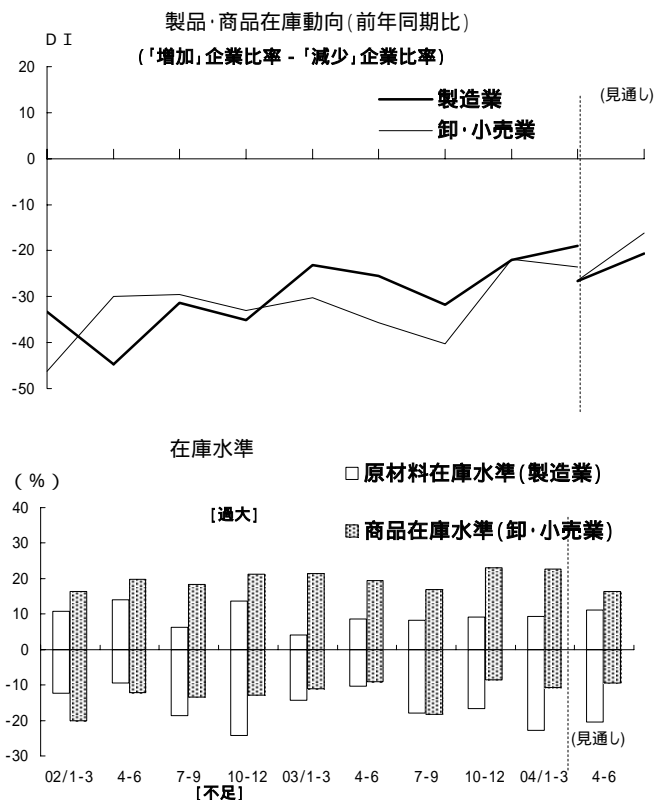
卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が8.6%（前期12.6%）、「減少」32.1%（同34.5%）であることから、DIは 23.5（同 21.9）となった。また、商品の在庫水準については、「過大」が22.6%（同23.1%）、「適正」が66.7%（同68.4%）、「不足」が10.7%（同8.5%）である。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が7.9%、「減少」が 28.6%で、DIは 20.7となっている。また、同じく原材料在庫水準については「過大」とみる企業が11.1%、「適正」が68.5%、「不足」が20.4%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が12.6%、「減少」が28.8%であることから、DIは 16.2となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が16.4%、「適正」が74.1%、「不足」が9.5%である。

製品・商品在庫（前年同期比）

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
（製造業）	1～3月 （実績）	1.6	15.9	46.0	27.0	9.5	-19.0
	4～6月 （見通し）	1.6	6.3	63.5	15.9	12.7	-20.7
（卸・小売業）	1～3月 （実績）	1.2	7.4	59.3	22.2	9.9	-23.5
	4～6月 （見通し）	1.3	11.3	58.6	21.3	7.5	-16.2



#### (4) 収 益

～ 製造業、卸・小売業で下向く、建設業は低水準で推移 ～

〔1～3月期の実績〕 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が18.1%（前期23.0%）、「減少」が52.4%（同49.8%）であり、DIは34.3（同 26.8）となり、4期ぶりに下向いた。

業種別にDIをみると、製造業 24.3（前期 20.5）、建設業 50.0（同 53.2）、卸・小売業 30.2（同 14.7）となり、製造業、卸・小売業で下向いた。

〔4～6月期の見通し〕 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が13.9%、「減少」とみる企業が47.9%であることから、DIは 34.0で、1～3月期実績と比較して横這いの見通し。

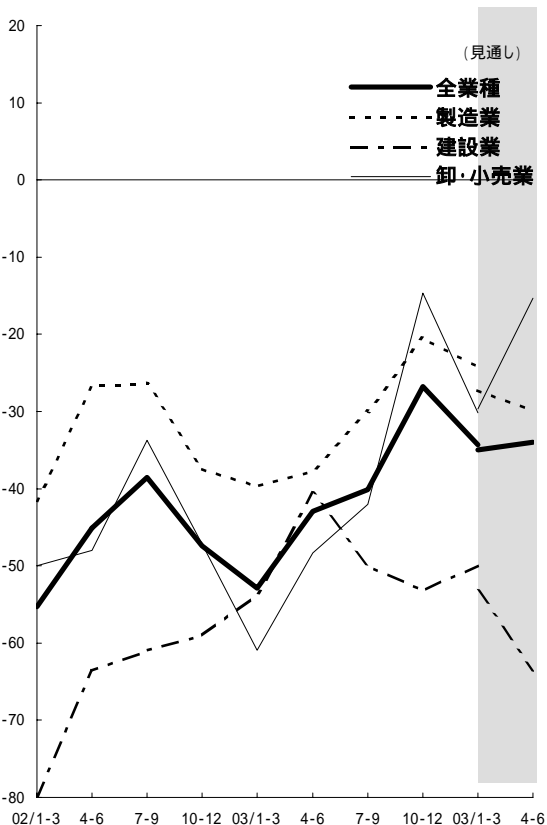
業種別にDIをみると、製造業は 29.9、建設業 63.5、卸・小売業 15.3であり、1～3月期実績と比較して、製造業、建設業で下向く予想である。

収 益(前年同期比)

		（%）						
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI	
全業種	1～3月 (実績)	4.2	13.9	29.5	30.6	21.8	-34.3	
	4～6月 (見通し)	2.3	11.6	38.2	27.4	20.5	-34.0	
（製造業）	1～3月 (実績)	3.0	21.2	27.3	30.3	18.2	-24.3	
	4～6月 (見通し)	1.5	10.4	46.3	23.9	17.9	-29.9	
（建設業）	1～3月 (実績)	4.7	7.8	25.0	28.1	34.4	-50.0	
	4～6月 (見通し)	1.6	6.3	20.7	25.4	46.0	-63.5	
（卸・小売業）	1～3月 (実績)	4.7	12.8	34.8	32.6	15.1	-30.2	
	4～6月 (見通し)	3.5	16.5	44.7	31.8	3.5	-15.3	

収益動向(前年同期比)

（「増加」企業比率 - 「減少」企業比率）



(5) 販売価格・仕入価格

～ 仕入価格の上向き傾向顕著 ～

[1～3月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が6.5%（前期3.0%）、「低下」が41.7%（同44.4%）であることから、DIは35.2（同 41.4）と、上向きとなった。

仕入価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が15.9%（前期9.2%）「低下」が15.9%（同21.4%）であることから、DIは0.0（同 12.2）となり、大きく上向いた。

[4～6月期の見通し] 4～6月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が9.8%、「低下」とみる企業が37.6%であることから、DIは 27.8で、1～3月期実績と比較して上向きとなる。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が21.0%、「低下」とみる企業が17.1%であることから、DIは3.9で、1～3月期実績と比較して更に上向きとなる見通し。

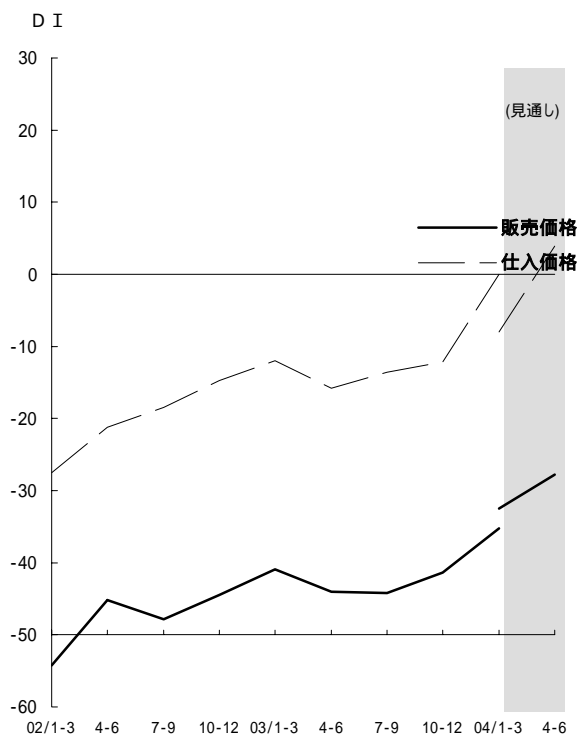
販売価格(前年同期比)

		（％）					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	1～3月 (実績)	0.5	6.0	51.8	32.4	9.3	-35.2
	4～6月 (見通し)	0.9	8.9	52.6	27.7	9.9	-27.8

仕入価格(前年同期比)

		（％）					DI
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	
全業種	1～3月 (実績)	1.4	14.5	68.2	13.1	2.8	0.0
	4～6月 (見通し)	2.4	18.6	61.9	13.3	3.8	3.9

価格動向(前年同期比)  
('上昇'企業比率 - '低下'企業比率)



### 3.設備投資の動向について

#### (1)設備投資の実施状況

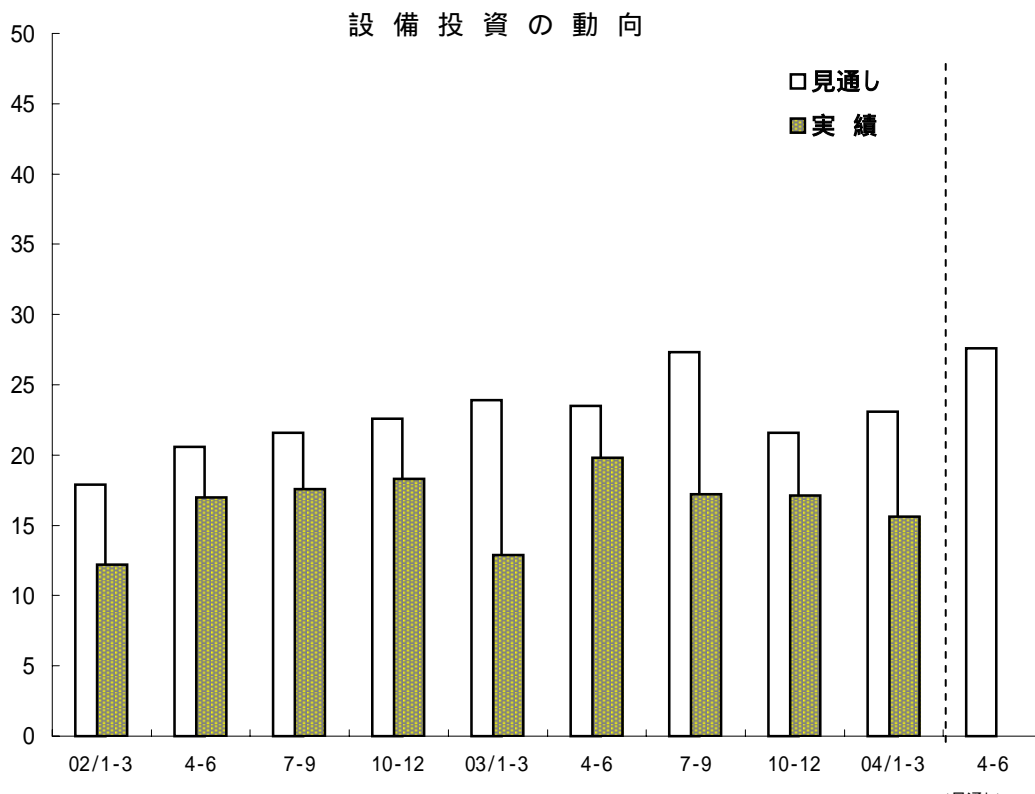
～ 少しずつだが上向きの方角 ～

[1～3月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は15.6%（前期17.1%）で下向いたものの、同時期としては比較的堅調に推移している。

これを業種別にみると、製造業が23%（前期25.3%）、建設業9.2%（同6.4%）、卸・小売業14.8%（同17.0%）と、建設業のみが上向いている。

[4～6月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で15.9%（前期10.3%）、「計画はあるが具体化していない」は11.7%（同12.8%）、「計画はない」は72.4%（同76.9%）であった。「計画あり」は合計27.6%（同23.1%）と少しずつ上向いてきている。

業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で33.9%（前期32.9%）、建設業で18.7%（同11.3%）、卸・小売業で29.4%（同22.6%）と、全業種で上向く予想となっている。



## (2) 設備投資の目的

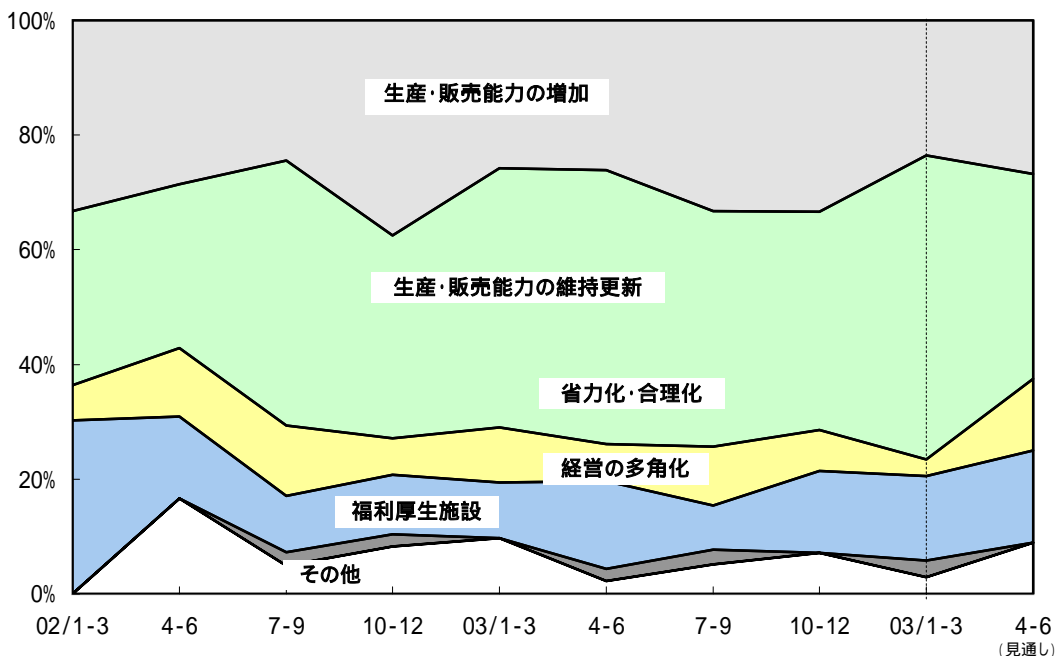
[1~3月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(15.6%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」52.9%(前期38.1%)が前回に続きトップとなり、「生産・販売能力の増加」23.5%(前期33.4%)が減少したものの2位と変わらず、「省力化・合理化」14.7%(同14.3%)が続いている。

業種別にも、各業種とも「生産・販売能力の維持更新」がトップとなっている。

[4~6月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(27.6%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が35.7%(前期38.9%)と最も多く、以下、「生産・販売能力の増加」が26.8%(同25.9%)、「省力化・合理化」16.1%(同16.7%)の順となっている。

業種別でも、実績と同様全ての業種で「生産能力の維持更新」がトップとなっている。

設 備 投 資 の 目 的



## 4. 資金繰り状況について

### (1) 資金繰り状況

～ 4期ぶりで下向く ～

〔1～3月期の実績〕 資金繰り状況（前期比）は、全業種では、「楽になった」とする企業が9.6%（前期15.7%）、「苦しくなった」が39.0%（同33.0%）であることから、D Iは29.4（同17.3）と4期ぶりに下向いた。

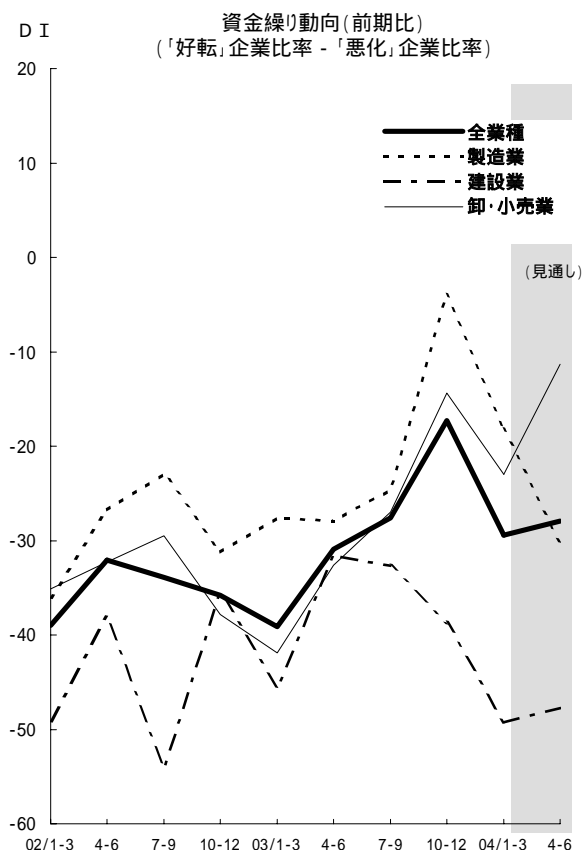
業種別にD Iをみると、製造業が18.2（前期3.9）、建設業が49.3（同38.7）、卸・小売業が23.0（同14.4）で、全業種で下向いており、特に建設業では厳しい状況が続いている。

〔4～6月期の見通し〕 4～6月期の見通し（当期比）をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が10.5%、「苦しくなる」が38.4%で、D Iは27.9となり、1～3月期実績（29.4）と比較して若干だが上向きの見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業30.3、建設業47.7、卸・小売業11.3となっており、1～3月期実績と比較して、卸・小売業で改善、製造業で悪化する予想となっている。

資金繰り(前期比)

		（％）					D I
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	1～3 （実績）	0.9	8.7	51.4	23.9	15.1	-29.4
	4～6 （見通し）	0.9	9.6	51.1	24.7	13.7	-27.9
（製造業）	1～3 （実績）	0.0	15.2	51.4	18.2	15.2	-18.2
	4～6 （見通し）	0.0	9.1	51.5	24.2	15.2	-30.3
（建設業）	1～3 （実績）	0.0	4.6	41.5	30.8	23.1	-49.3
	4～6 （見通し）	0.0	9.2	33.9	32.3	24.6	-47.7
（卸・小売業）	1～3 （実績）	2.3	6.9	58.6	23.0	9.2	-23.0
	4～6 （見通し）	2.3	10.2	63.7	19.3	4.5	-11.3



## (2) 現金・預金

[1~3月期の実績] 現金・預金(前期比)については、「増加した」と答えた企業が8.3%(前期16.1%)、「減少した」が45.6%(同39.0%)であることから、DIは37.3(同22.9)と下向いた。

[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し(当期比)をみると、「増加する」とみえる企業が7.0%、「減少する」が41.4%であることから、DIは34.4(当期37.3)で若干上向く予想となっている。

## (3) 金融機関借入

[1~3月期の実績] 金融機関借入金(前期比)については、「増加した」と答えた企業が21.0%(前期22.0%)、「減少した」が29.9%(同31.1%)であることから、DIは8.9%(同9.1%)とほぼ横這いの状況。

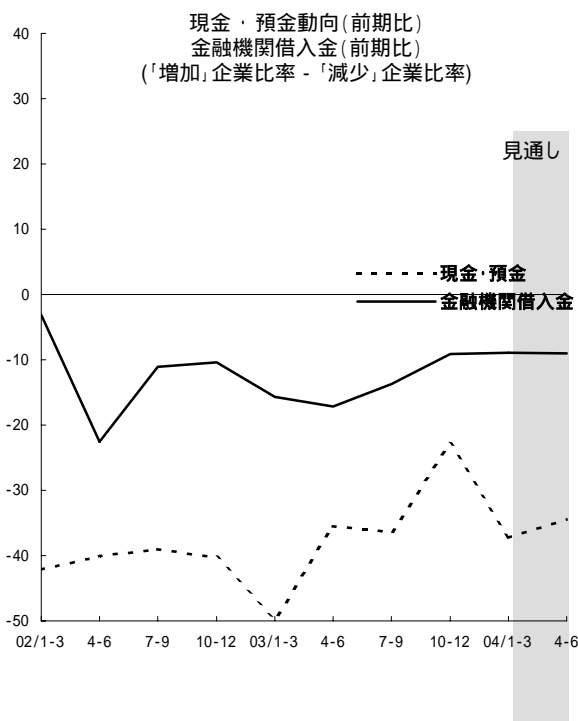
[4~6月期の見通し] 4~6月期の見通し(当期比)をみると、「増加する」とみえる企業が19.1%、「減少する」が28.1%であることから、DIは9.0(当期8.9)と、当期同様に横這いの予想となっている。

現金・預金(前期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1~3 (実績)	0.9	7.4	46.1	31.3	14.3	-37.3
	4~6 (見通し)	0.5	6.5	51.6	29.8	11.6	-34.4

金融機関借入金(前期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	1~3 (実績)	5.6	15.4	49.1	24.3	5.6	-8.9
	4~6 (見通し)	4.3	14.8	52.8	23.3	4.8	-9.0



#### (4) 販売代金回収期間

〔1～3月期の実績〕 販売代金回収期間（前期比）については、「短くなった」とする企業が4.2%（前期3.4%）、「長くなった」が19.1%（同18.3%）であることから、DIは 14.9（同 14.9）となった。また、76.7%（同78.3%）の企業は「変わらない」としている。

〔4～6月期の見通し〕 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「短くなる」とみる企業が4.2%、「長くなる」が17.7%であることから、DIは 13.5（当期 14.9）となる。また、78.1%の企業は「変わらない」とみている。

#### (5) 仕入代金決済期間

〔1～3月期の実績〕 仕入代金決済期間（前期比）については、「長くなった」とする企業が5.1%（前期4.4%）、「短くなった」が7.3%（同6.5%）であることから、DIは 2.2（同 2.1）となった。また、87.6%（同89.1%）の企業は「変わらない」としている。

〔4～6月期の見通し〕 4～6月期の見通し（当期比）をみると、「長くなる」とみる企業が4.6%、「短くなる」が4.7%であることから、DIは 0.1（当期 2.2）となる。また、90.7%の企業は「変わらない」とみている。

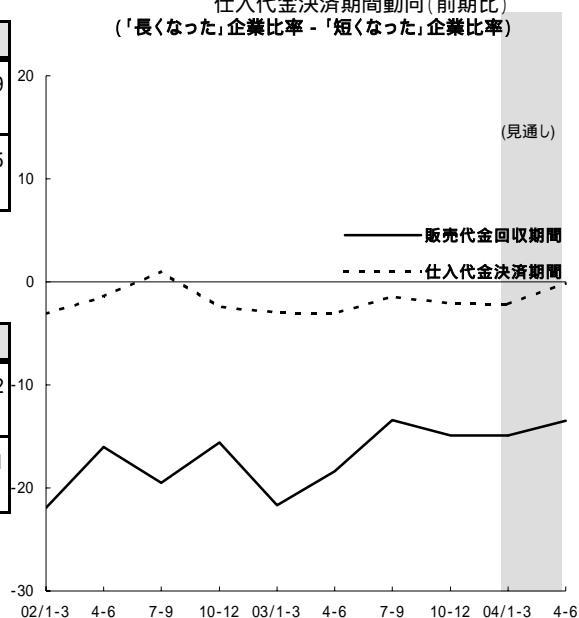
販売代金回収期間(前期比)

		（％）					DI
期	短く	やや短	不変	やや長	長く		
全業種	1～3 （実績）	0.5	3.7	76.7	15.8	3.3	-14.9
	4～6 （見通し）	0.0	4.2	78.1	14.4	3.3	-13.5

仕入代金決済期間(前期比)

		（％）					DI
期	長く	やや長	不変	やや短	短く		
全業種	1～3 （実績）	0.0	5.1	87.6	5.5	1.8	-2.2
	4～6 （見通し）	0.0	4.6	90.7	2.8	1.9	-0.1

販売代金回収期間動向(前期比)  
 (「短くなった」企業比率 - 「長くなった」企業比率)  
 仕入代金決済期間動向(前期比)  
 (「長くなった」企業比率 - 「短くなった」企業比率)





## 5. 経営上の問題点について

～ 「売上・受注不振」 が依然トップ ～

1～3月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」36.3%（前期35.2%）、「収益不振」15.7%（同16.4%）、「過当競争」15.5%（同19.0%）、「販売価格安」12.8%（同13.1%）の順となり、「収益不振」と「過当競争」が順位を入れ替えたが、上位の項目に変化はなかった。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「受注不振」34.6%（前期34.7%）、「販売価格安」15.7%（同17.3%）「収益不振」11.0%（同14.7%）。建設業では「受注不振」45.1%（同38.8%）、「過当競争」21.3%（同27.3%）、「収益不振」18.0%（同19.8%）。卸・小売業では「売上不振」30.9%（同33.7%）、「収益不振」17.9%（同15.8%）、「販売価格安」16.0%（同14.7%）となっている。いずれの業種とも「売上・受注不振」がトップとなり、次いで「収益不振」「過当競争」「販売価格安」が上位を占めている。

